

会 議 録

1 会議名

平成30年度第11回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

新上越斎場建設事業について（公開）

【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について（公開）

3 開催日時

平成30年12月18日（火）午後6時00分から午後7時24分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員： 青山恭造（会長）、竹内明美（副会長）、増田和昭（副会長）、
泉 秀夫、磯田一裕、伊藤邦雄、今川芳夫、河野健一、久保田幸正、
小林克美、坂井芳美、田中美佳、田村雅春、中澤武志、町屋隆之、
丸山朝安、水澤敏夫（欠席1名）
- ・ 事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、千田主任
健康づくり推進課：北島課長、米山副課長、木南係長、新保主任

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青山恭造会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：磯田委員、伊藤委員に依頼

議題【報告事項】新上越斎場建設事業について、担当課へ説明を求める。

【健康づくり推進課：北島課長】

- ・挨拶
- ・今までの経緯について説明
- ・資料No.1「新上越斎場建設事業整備方針（案）について」に基づき説明

【青山恭造会長】

説明に対し質疑を求める。

【丸山委員】

新斎場の建設予定地に民有地が入っているが、所有者から借りるのか、市で買い上げるのか。

【健康づくり推進課：北島課長】

市で購入する予定である。

【田村委員】

今まで市が直営で運営していたが、今後、民間業者に委託していくのだと思う。現在、死亡届を出すと1万円徴収されるが、そういうものが民間業者に委託すると利益の対象となり高額になっていくのではないかと懸念している。

今後の運営の仕方はどうなるのか。上越市として徴収額の上限を決めてそれ以上は値上げしないというやり方を行っていくのか。

【健康づくり推進課：北島課長】

現在、基本構想まで至っておらず、運営方法等も決まっていない。クリーンセンターは公設民営で行っているが、近隣の他市等で最近建設した斎場は、公設民営や、グループ会社を作ったり、一部事務組合が運営したりするなど、各地域のやり方で行っているところが多い。

民間活力の導入については、民間資金を活用するやり方もある。他県の事例では、初期投資のうち建設や設計の事務費等については市が起債し一括で支払いをしている。その際は合併特例債を活用している。

新斎場に民間活力を導入する場合、手を挙げてくれる業者がいるとも限らない。サービスについても今以上のサービスを求めるので、それに対して手を挙げてくれる業者が

いるかどうかも含めて導入可能性調査を来年行う予定でいる。その結果に基づいて基本構想を作っていきたいと考えている。

ただ、現在の1万円という料金については、費用対効果の部分で適正なのかという意見が議員から出ていた。全国の事例等を見ても、人件費やその日の火葬数によっても変わってくるので、費用対効果で火葬料金を決めるところはあまりないと認識している。ただ、現在の金額が新しく斎場を造って稼動した際に適切かどうかということも今後の課題だと思っている。料金が2倍や3倍になるかということ、市民の負担が増えることなので、そこは皆さんの理解も必要となってくる。民間活力の導入は、そういうことも含めて、基本構想で考えていきたい。

【田村委員】

公共サービスと民間活力導入というのは相反するものがあるので、そういう点は丁寧に説明していただきたい。

【小林委員】

資料No.1の「4 上越斎場の方向性」の『〇施設計画の前提条件』に「頸北斎場は長寿命化を図ることとし、頸北3区（柿崎区、大潟区、吉川区）の住民は引き続き頸北斎場を利用することを前提とした施設規模とする」とあるが、資料No.1の2ページ目の「上越市の推計死亡者数」を見ると、ピーク時があと20年後となっている。そうすると、頸北斎場を20年から25年くらいは維持していき、その後は火葬需要は減少に転じる中で、頸北斎場は廃止する方向なのか。

【健康づくり推進課：北島課長】

頸北斎場については、今後、新斎場とは切り離して運営し、ピーク時までは確実に長寿命化を図り維持管理を行っていく。その後については、頸北地域の皆さんから意見を聴き検討していくということで地元の方々からも了解を得ている。

【増田副会長】

3点ほど要望したい。

基本構想を示される時に通常は決められた基本構想があって、私たちが意見を言おうとしてもほとんど変えられないような段階で説明に来られるが、私たちが意見を言っても変えられるような段階で示していただきたい。

次に、今後、他市からの御遺体を上越市で火葬するということがあるかもしれない。そのことを考慮しておいていただきたい。

次に、年間の火葬件数は資料にあるが、平均的に亡くなっていくわけではない。現在も火葬待ちの状態が起きているということも聞いたことがあるので、そこも十分に考慮していただきたい。

そして、本案件には関係ないかもしれないが、引き取り手のない御遺体が出てくる可能性が非常に高い。その時の費用は市が負担すると思うが、将来はそのような事態もあるということをご参考までにお話しておく。

【町屋委員】

新斎場の建設予定地内に土砂災害警戒区域が入っている。区域内は建物ではなく駐車場となっているが、災害が起こって駐車場が使えなくなったら、それだけで稼働率が落ちるのではないかと懸念されている。

もし何かあった時はどうするのか。何かあって災害に巻き込まれたらどうするのか。

【健康づくり推進課：北島課長】

建設地の検討に当たっては、県の妙高砂防事務所の職員の方々からも見ていただき、十分な検討を重ねてきたと思っている。

イエローゾーンについては建物を規制するものではないが、7月の西日本豪雨や北海道地震の際の地すべりの被害を受け、改めて俎上に載せ、整備方針の中にも入れさせていただいた。

現上越斎場もイエローゾーンに含まれているが、今まで検討を重ねてきた結果、新斎場の建設予定地が適地だと思っており、市民の皆さんも昔からそこに斎場があり、新たな斎場を予定地に建設することも御理解をいただけるのではないかと考えている。

イエローゾーンについて記載することで市民の方々の不安をおおるわけではなく、むしろきちんと調べたことによって安全なのだということをお伝えしたくて整備方針に登載させていただいた。

現斎場跡地は、マイクロバスや小型バスが転回する場所といった臨時的な駐車場としたいと考えている。豪雨などで危険だとなったら、災害マニュアルに従い、別の場所へ誘導するなど考えている。

新斎場の建設予定地は、対策も十分考えた上で適地としている。

【青山恭造会長】

新斎場に「動物炉」が新たに設置されるが、一般的に考えると犬や猫を思い浮かべるが、現在想定されている動物はどのようなものか。イノシシや熊も良いのか。

そして現斎場に「汚物炉」が1基あるが、何を燃やしているのか。

【健康づくり推進課：北島課長】

動物炉は頸北斎場にあり、イノシシも火葬された経緯はある。だが、あくまでもペットの火葬として利用していただいている。

汚物炉については、お産の際に体外に出された胎盤や手術等で出た臓器等を燃やすための炉である。

【町屋委員】

今回資料をもらった際、動物炉や汚物炉について調べた。新斎場については汚物炉がなくなるが、実際問題としては一緒に焼けば良いと思った。汚物は人体と一緒にの炉で焼き、小さいものは動物炉で焼けば良いのではないか。

【青山恭造会長】

ほかに質問等がないので報告事項については終了とする。

— 健康づくり推進課 退室 —

次に【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

これまで何回か協議を行ってきたが、本日は、今までの協議を踏まえながら今後優先的に協議するテーマがあれば整理していただきたい。

【青山恭造会長】

現在、なおえつ保育園の園舎が完成し、来年4月の開園を待つだけとなっているが、中央保育園や古城保育園の今後の利用方法について話し合ったり、厚生北会館の跡地利用について何かないかということ話し合ったりすることも直江津まちづくり構想を協議していく際の一つの手法だと思っている。

そして、直江津区地域協議会と直江津地区町内会長連絡協議会と五智地区町内会長協議会との意見交換の場を設けたほうが良いのではないかという意見も出ているので、その辺も踏まえて意見があれば出していただきたい。

泉委員、古城保育園の跡地利用について、地元町内会で何か結論は出ているのか。

【泉委員】

何人かの住民の方々と古城保育園を見に行き、跡地利用についてどのようにしていくかの協議を行っている最中である。お金の問題等もあり、まだ結論は出ていないが、来年中には出したいと思っている。

【青山恭造会長】

中央保育園は地元町内の役員と話をしたことがあるが、保育園を避難所として活用したいということだった。

【増田副会長】

2件とも町内会長の方々と連携して進めていかななくてはいけないと思っている。お互いに連携しながら良いものを上手に使っていく必要があるためタイミングを見ながら意見交換会をしていただきたいと考えている。町内会長の立場として自町内をどうしたいのか、どういう課題があるのかということ各町内会長は持っていると思うので、意見交換をする中で一緒になってやっていこうということが出来上がれば、それ自体がまちづくり構想になる。町内会長の皆さんたちと課題を共有しながら話し合いを行っていくというのが一番良い方法だと思っている。

なるべく早いうちに町内会長の皆さんたちと意見交換をしたい。

【青山恭造会長】

できれば年度内には行いたいと思っている。

【田村委員】

以前出ていたイトーヨーカドー閉店の件はどうなったのか。

【中澤委員】

中心市街地活性化協議会で話し合いを行っているが、なるべく早い段階でテナント誘致できるよう努力をしているということだった。

【増田副会長】

12月議会でも2名の議員がイトーヨーカドー閉店の件を質問されていた。それに対して市長が答弁されていたが、答弁内容については会議録公表後に、参考として事務局から資料をいただくことになっているので、それを見て地域協議会として何をしていくべきか判断していきたいと思っている。

いろいろなことを言うと風評被害が出てしまいテナント交渉に影響する可能性がある。そうならないように皆さんへは正確な情報を伝えられるようにしていただきたい。

【小林委員】

県議会で直江津駅前に免許センターを造るための補正予算が付いたということだが、年間5万人から6万人の方々が来ると言われている。そうすると駅前商店街等は潤うのか。そして、上越警察署内にある交通安全協会も来るのか。

【青山恭造会長】

柿崎にある免許センター上越支所が直江津駅前に建設しているマンション内のテナントとして入るのではないのか。

【町屋委員】

上越市は警察署へ行き免許の更新手続きを行っているが、長岡市や新潟市では免許センターにおいて、更新手続きを行い即日交付されている。上越市は免許センターで更新手続きが行えないため後日交付となっている。直江津駅前に運転免許試験場が出来るというわけではない。

【青山恭造会長】

小林委員が心配しているのは、駐車場の関係なのではないか。

【小林委員】

免許センターについて、皆さんが思っていることもバラバラで実態も全く見えてこない。そんな状態で「年間5万人から6万人来る」ということが独り歩きしている。直江津駅前に何万人も来たら駐車場等はどうなってしまうのか。いろいろな方向から考えていかないと問題が起こる気がする。

【中澤委員】

駐車場は不足するだろうと思っている。

【滝澤センター長】

県の補正予算の詳細については、事務局では把握していない。今後何か情報があれば報告させていただく。

【増田副会長】

町内会長協議会との意見交換会の件だが、日程は2月の中旬以降にしたいと考えている。相手がいることなので会長・副会長・事務局で決めていきたいと思っている。

【青山恭造会長】

直江津区地域協議会委員と全町内会長が出席するのか。

【増田副会長】

直江津区地域協議会委員も各町内会長も全員参加していただきたいと思っているが、直江津地区と五智地区では課題も違うと思うので、別の日程で意見交換をしたほうが良いのではないのか。

【伊藤委員】

ほかの地域協議会でも町内会長の方々と意見交換を行っているとのこと。町内会長の方々と意見交換をすることは賛成である。

【泉委員】

意見交換を行うのは良いが、その前段として地域協議会の会長と副会長、町内会長の方々も何人か集まっていたら、議題等を絞ったほうが良いのではないかと考えている。議題を決めておかないと、ただ集まるだけで終わってしまうかもしれない。

【町屋委員】

一つのテーマに対していろいろな人がいろいろな意見を持っていると思うが、それはコンセンサスができていないからだと思っている。中央保育園を避難所にしたいと言っている、それが町内会としてのコンセンサスなのかと言ったら、やはりそうでない部分もあったりする。個人の要望でしかないレベルのものと、町内会単位でのレベルがある。私たちがお会いするのは一町内の町内会長ではなく、町内会長協議会の方々である。全体のまちづくりを皆さんで話し合っていくことが大事なのではないか。皆さんが個人の立場でものを言ってしまうと収集が付かなくなると考えている。

【泉委員】

今まで地域の方々と意見交換会を行ってきたが、結論が出にくいものばかりだったように思う。町内会長たちとの話し合いでは小さなことでも良いので、結論が出やすいものから話し合っていきたいと思っている。

【青山恭造会長】

それでは、町内会長と地域協議会委員を兼ねているの方々と話を詰めていきたいと思う。次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・次回協議会の事務局案：1月15日（火）

【青山恭造会長】

- ・次回協議会：1月15日（火）午後5時～
- ほかに何かあるか。

【田村委員】

J Tの跡地で建設工事が始まり、直江津学びの交流館の駐車場が満車状態になっており、不便である。

【中澤委員】

以前、J Tの跡地で建設工事が始まるため立ち会って欲しいという依頼があり伺った時があるが、その際、直江津学びの交流館前に車を止めさせてもらった。その時に感じたのが、駐車場に止まっている車は、直江津学びの交流館利用者以外の車もあるということが分かった。ただでさえ駐車場が狭くて困っているのに、それで良いのかと思った。

事務局から館長に意見として伝えておいていただきたい。

【滝澤センター長】

承知した。

【青山恭造会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。